

太宰府市民の皆さん、
こんにちは!

ほたる

2024年7月 第37号

県議会議員

わたなべ美穂です!

6月議会報告

一般質問

妊娠初期から産後ケアについて、次の2点から県の考え方や施策について質しました。

①昨年からはじめた初回産科受診料支援について。初回は保険適用外診療のため高額ということもあり受診をためらう人が多い現状から、初回受診料は国が半分、市町村が半分の負担する制度がスタートしましたが、県内では43の自治体が未実施です。

②妊産婦の精神的フォローについて。産後うつについて徐々に認知されていますが、虐待や自死に至ることもある深刻な問題です。こういう痛ましい事案を少しでも減らすため、国では産後ケアの基礎となる産婦健診について補助制度を設け、利用者負担の軽減を図りました。しかし今回の質問で県内の半数以上の自治体はその制度を活用していないことも明らかになりました。(なお太宰府市では両制度とも実施しています)

県では今後も市町村に対し、利用促進に向けて働きかけていくとしました。また、県は今年度から産後ケアの利用者負担軽減のため、独自の補助制度を創設しています。この産後ケアは市町村事業ですが、母親の心身のケアを行うための短期入所施設が足りないなどの市町村の意見や要望を踏まえて市町村の運営をサポートしていくと答弁しました。



代表質問は裏面へ

困
む
会

県政報告会のご案内 どなたでもどこの地域でも
ご参加いただけます。

日時

7月27日(土) 10時

場所

高雄公民館 (高雄2-3844-5)

皆様とのお約束です!

太宰府市議会議員との
意見交換会実施

4月9日、わたなべ美穂の公約でもある市議会議員との意見交換会を行いました。13名の市議会議員にご参加いただき、予定時刻を大幅に超えて、熱心な議論を行っていただきました。

6月議会報告

代表質問

所属会派が行った代表質問の中で主だった項目をご報告いたします。

●パートナーシップ宣誓制度の進捗状況

所属会派が提案し実現したパートナーシップ宣誓制度によって、これまで県内で72組のカップルが誕生し、1031の民間事業者からサービスの提供をいただいています。

●太陽光パネルの廃棄問題とペロブスカイト利用について

近い将来耐久年数が過ぎた太陽光パネルの大量廃棄が予想されています。県内には最終廃棄物として太陽光パネルを受け入れる事業所がありません。県では廃棄太陽光パネルスマート回収システムを開発し、2021年から運用を開始しています。このような中、現在国内で調達可能なヨウ素を使用し、厚さ0.001ミリという薄くて軽いペロブスカイトという素材で作られた太陽光発電が注目されています。県もその導入に向け、協議・検討を始めています。

●高齢者の孤立を防ぐ施策について

本年1月から3月までの3か月間に自宅で亡くなった一人暮らしの方は県内で913名、その内高齢者は710名となっています。県では新聞販売店など地域で密着した活動をしている民間事業者と包括協定を結んで高齢者の安否を確認する「見守りネット福岡」を立ち上げ、市町村へもその動きを広げています。

●教育問題について

今年5月1日現在、小中併せて教職員202名、非常勤講師377名、計579名が未配置になっています。更に採用試験の倍率も小学校1.2倍、中学校2.1倍と低迷を続けており、今年就任された、教育現場出身の寺崎新教育長に大きな期待が寄せられています。

皆様とのお約束です!

令和5年度政務活動費報告



県議会では会派に政務活動費が支給され、議員が必要経費を会派に請求し、会派から支給される仕組みになっています。

(単位:円)

科目	支出額	備考
事務所維持費	3,413,488	家賃・光熱費・事務所費・人件費、総額の半額
議会報告	1,702,655	デザイン・印刷・全戸配布費用、総額の5~8割 ホームページ管理費の半額、県政報告会経費
交通費	94,572	公費支給以外の負担額
その他	53,976	資料代の半額、研修会費
総額	5,264,691	

※費用負担の割合は、県の申し合わせに従っています。政務活動費で負担していない経費は資金管理団体を通してわたなべ美穂が負担しました。



手話で ありがとう

左手の甲に、
小指側を直角にのせた
右手を挙げながら
おじぎをする



資料:糸島市公式ウェブサイトより

皆さんの声をお聞かせください!

WEBサイトも
ご覧ください!

あなたとつなぐ県政 わたなべ美穂事務所

〒818-0125 太宰府市五条3-4-38

電話:092(918)1121 FAX:092(918)1128

